

ポストコロナの観光と地域

東洋大学 国際観光学部

佐野ゼミナール

内田 内山 梅谷 篠田 永松

2021/04/21

目次

観光と関係人口の関係性に関するWebアンケート調査について

- 1) 4.1 アンケート調査の概要
- 2) 4.2 コロナ前後の観光の変化
- 3) 4.3 マイクロツーリズムの実態
- 4) 4.4 マイクロツーリズムと関係人口の可能性
- 5) まとめ

1)4.1 アンケート調査の概要

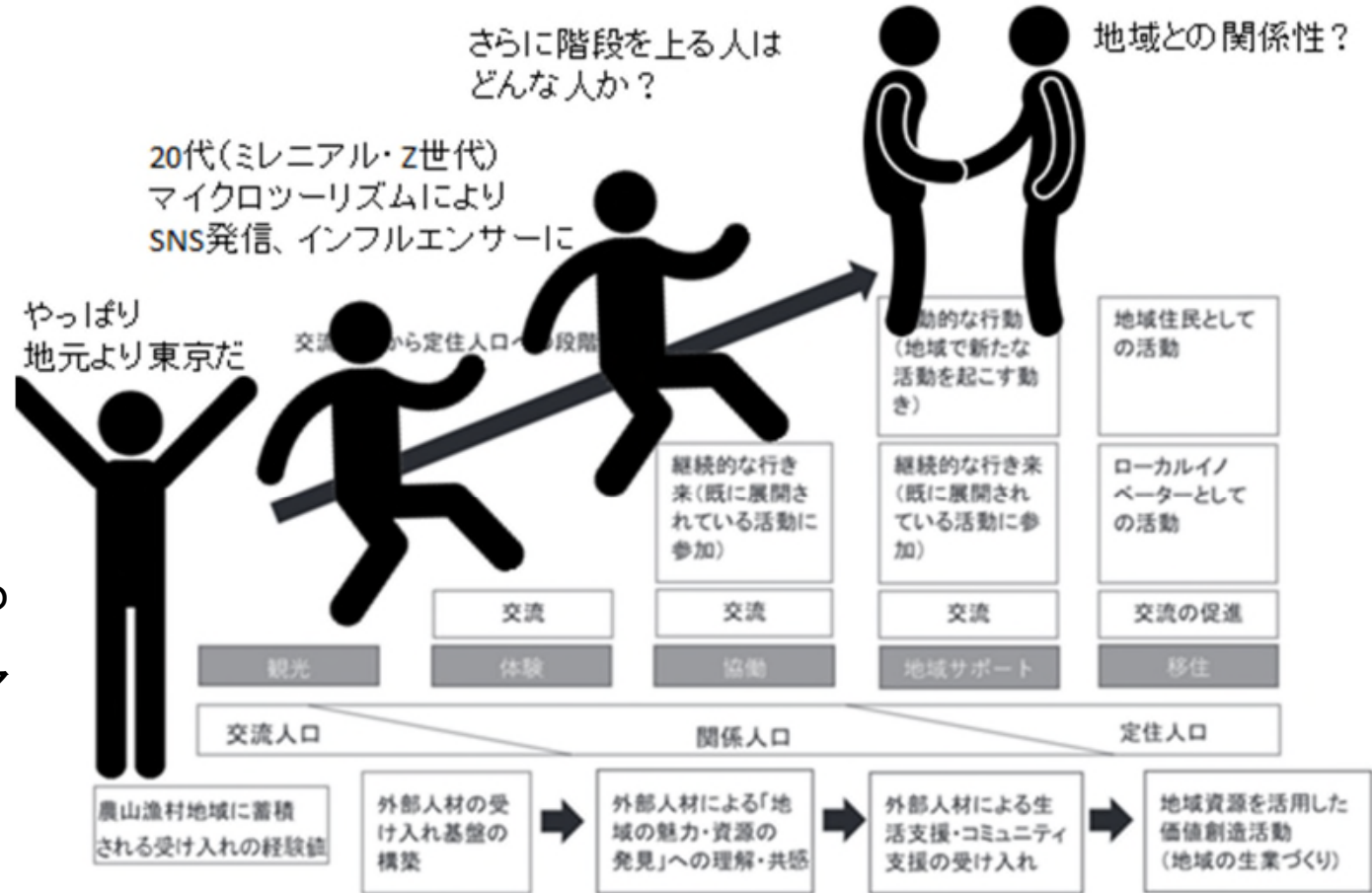
<問い>

観光を通して、どのように

関係人口は生まれるのか。

<仮説>

- ・ 地元住民との交流に積極的である
- ・ 体験型プログラム、ボランティア活動に意欲的
- ・ 地域の歴史や特色に興味がある



第2図 移住・交流の視点からみた交流人口・関係人口・定住人口の関係性と段階性

(筒井 (2018) をもとに筆者加筆・修正)

1)4.1 アンケート調査の概要

Webアンケートにおけるリサーチ・クエスチョン

- ①（コロナ禍の）マイクロツーリズムは、
どんな人がどんな目的、どんな場所で行っているのか？
- ②（コロナ禍の）マイクロツーリズムでは、
どんな行動を行っているのか？（体験・交流は？）
- ③マイクロツーリズムは、レポートされるのか？

※マイクロツーリズムの空間的範囲について

- ・ 普段行かない場所であればどれだけ自宅に近くても良い
- ・ 自宅の立地する都道府県内 と設定

1)4.1 アンケート調査の概要

対象 20～30歳代の男女 （ミレニアル世代・Z世代）

→中長期的な観光の将来を見据えるため

居住地域 4地域 東京都（大都市） 島根県（地方部）、
北海道（愛県心が高い）、埼玉県（愛県心が低い）

回答者数 計700人（島根県を除く各地域200人、島根県のみ100人）

※20代男性、20代女性、30代男性、30代女性、それぞれの属性ごとに50人と均等に割り当てられている

2)4.2 コロナ前後の観光の変化

コロナ以前

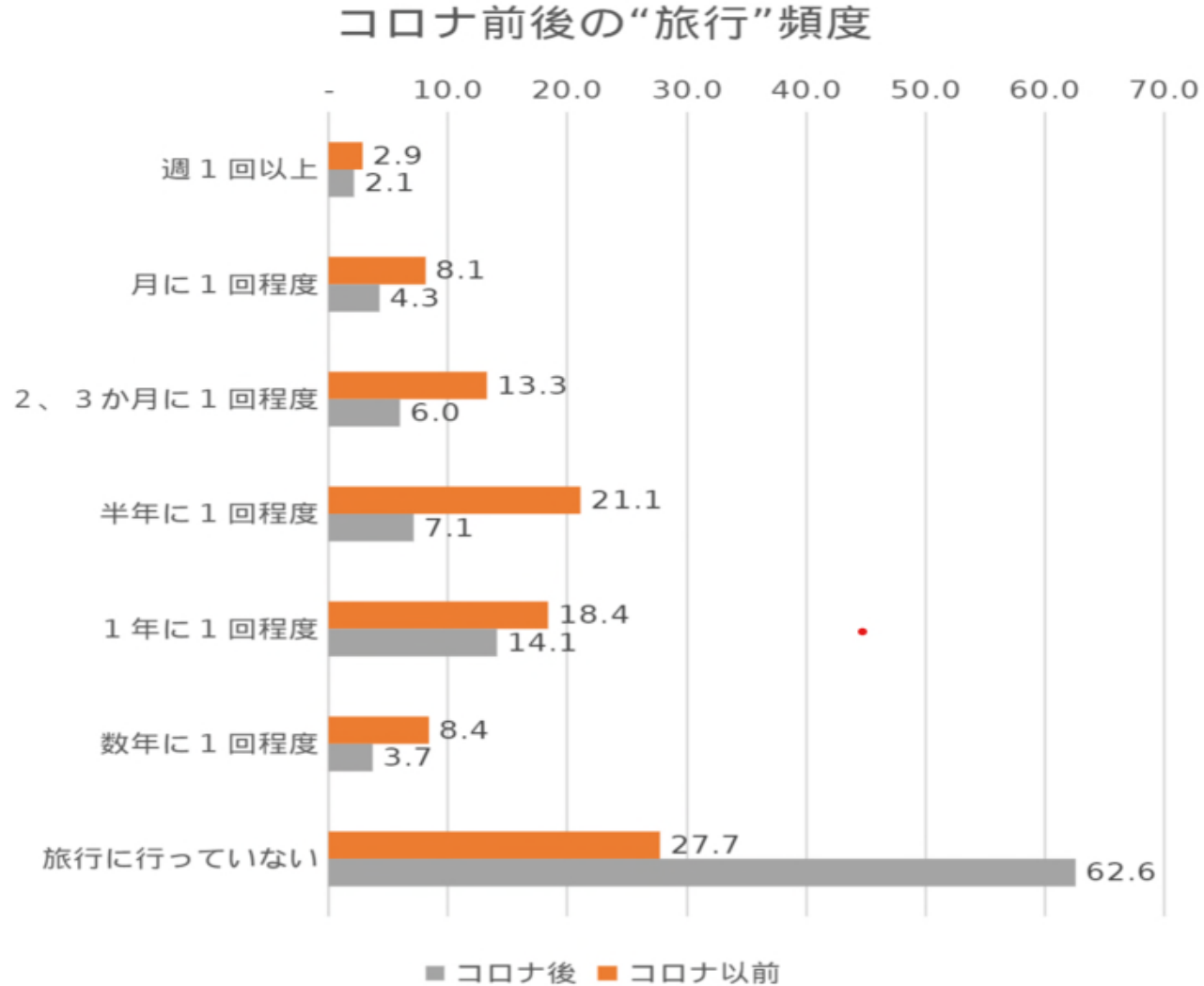
27.7%

コロナ以後

62.6%

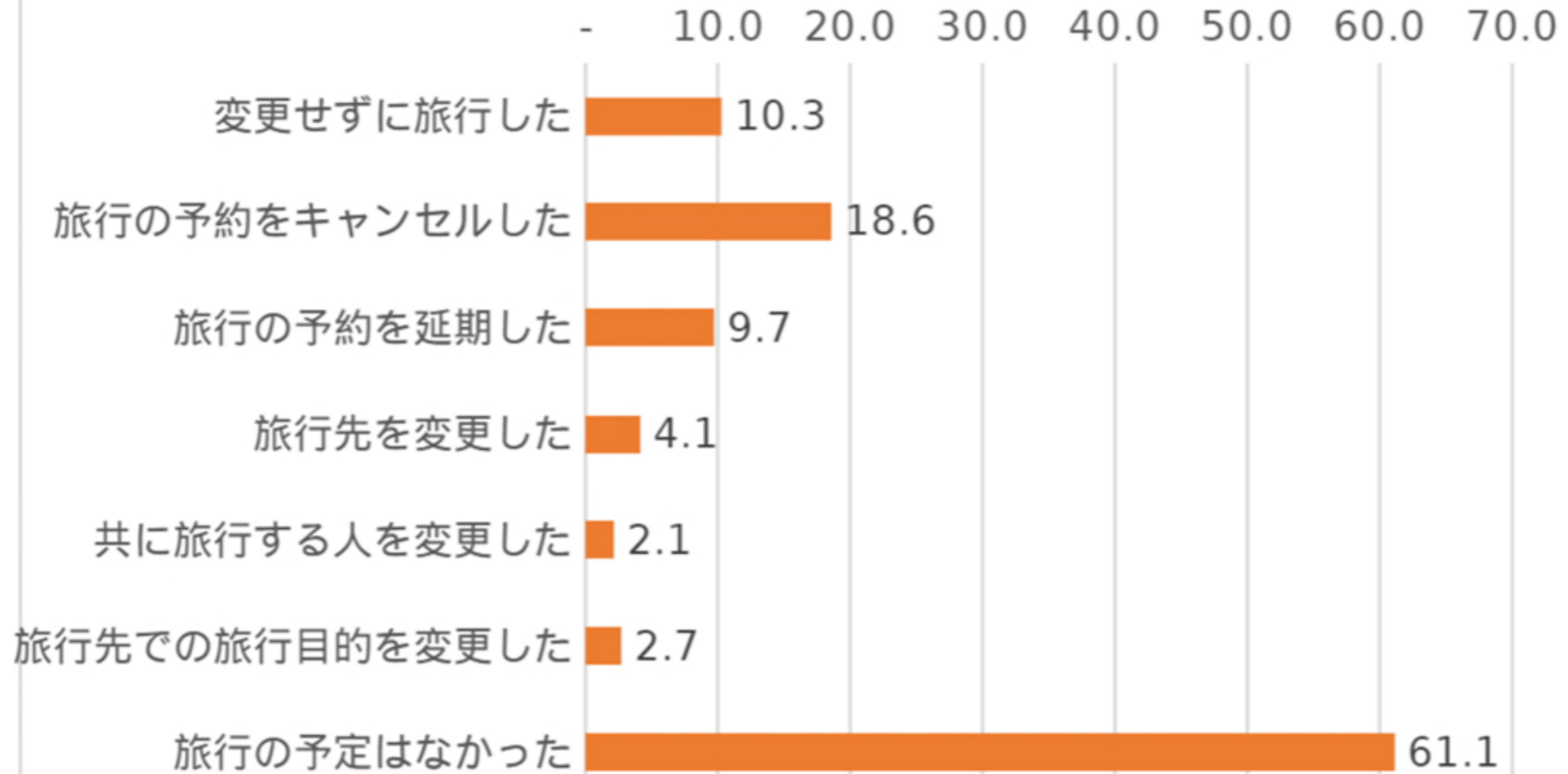
その他...9.7%

2)4.2 コロナ前後の観光の変化



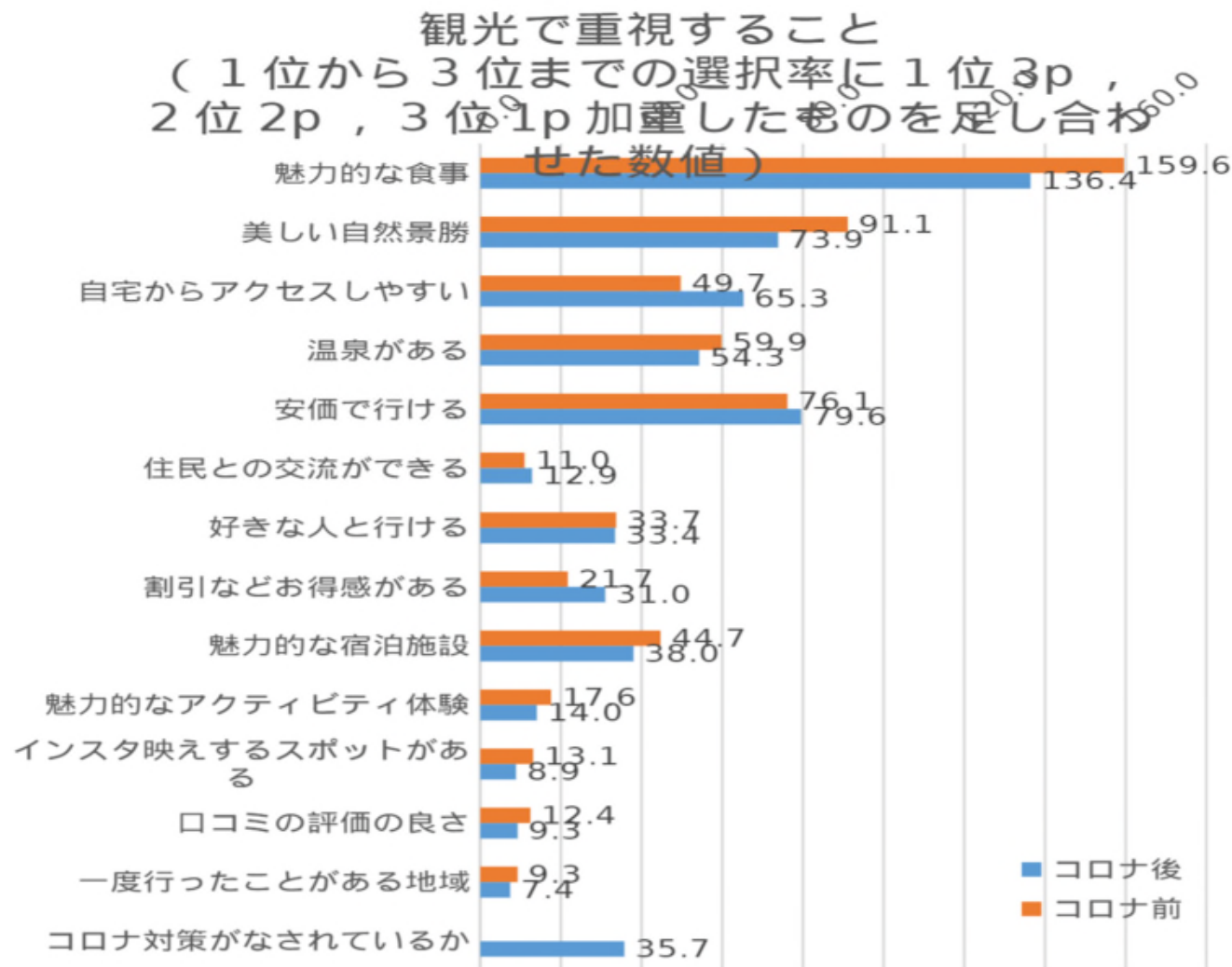
2)4.2 コロナ前後の観光の変化

予定していた“旅行”のコロナ後の対応



2)4.2 コロナ前後の観光の変化

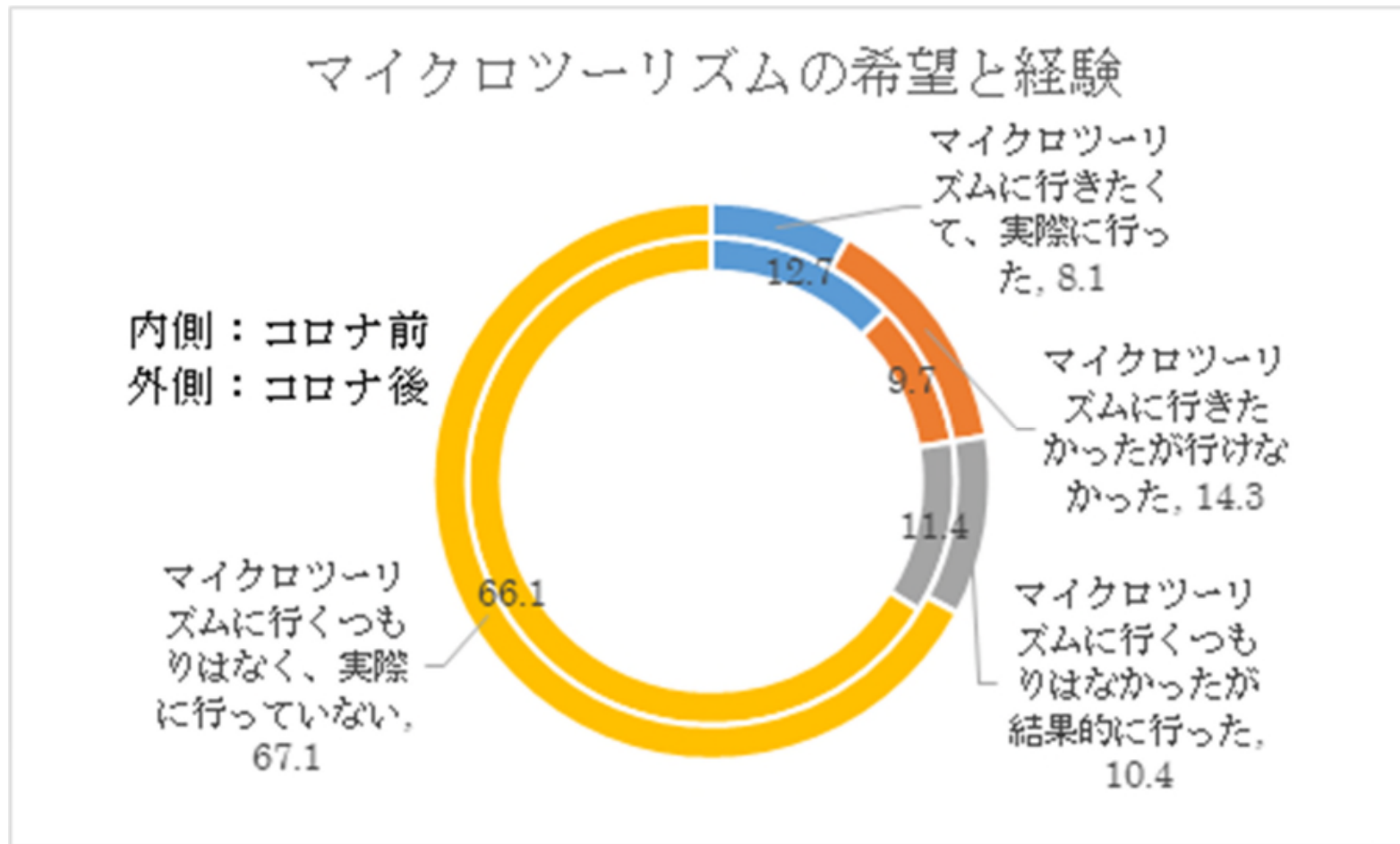
観光志向の変化



3)4.3 マイクロツーリズムの実態

マイクロツーリズムの概念はコロナ後に登場したが、実態はコロナ前後で大きな変化は見られなかった。

コロナ後、経験率は減少していた。



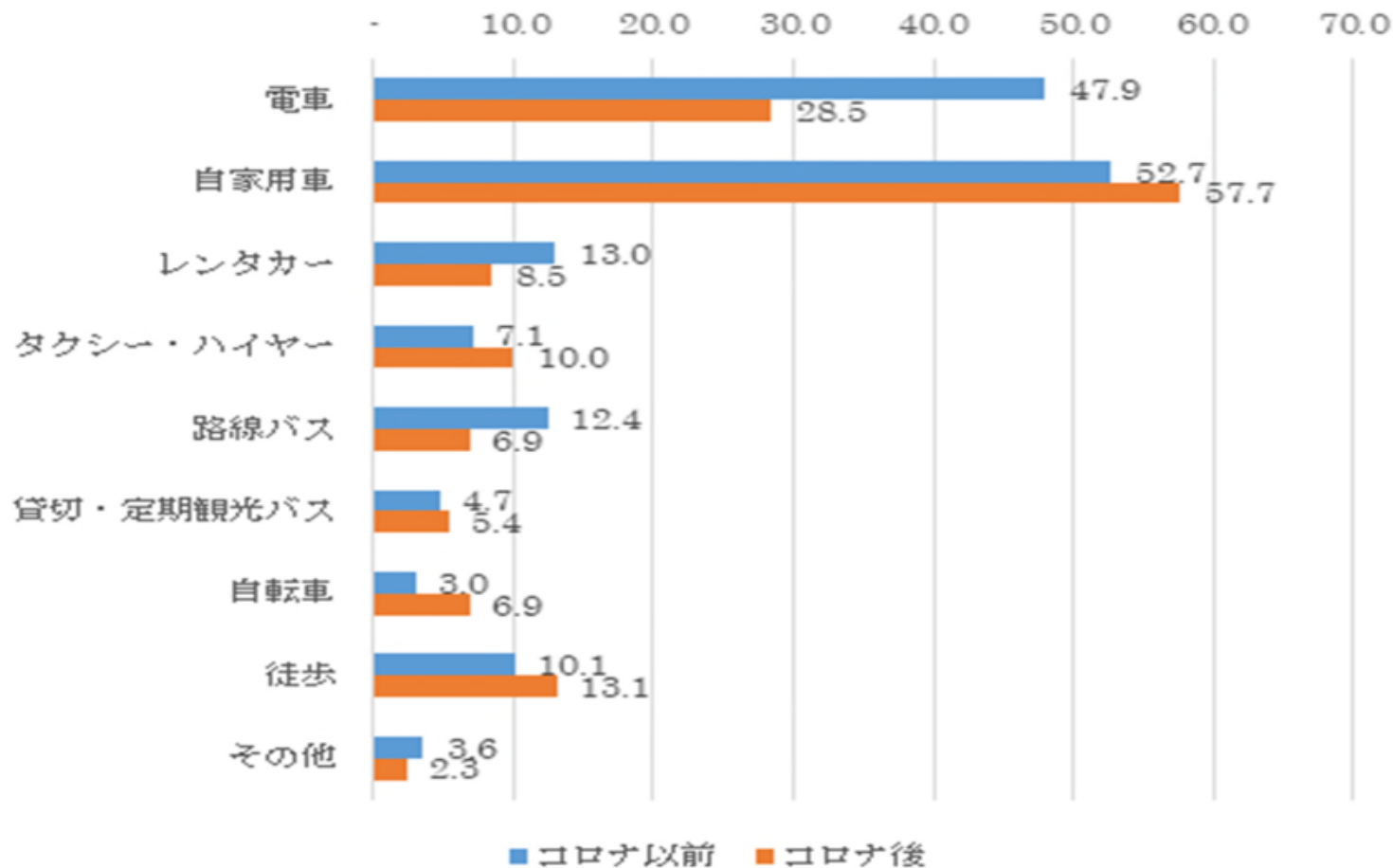
3)4.3 マイクロツーリズムの実態

コロナ前は電車と自家用車の2つが主な交通手段

コロナ後は電車は30%未滿に減少し、自家用車が6割近くを占めている。

タクシー・ハイヤーの他に自転車、徒歩といった交通手段も増加

コロナ前後のマイクロツーリズムで利用した主な交通手段（3つ）

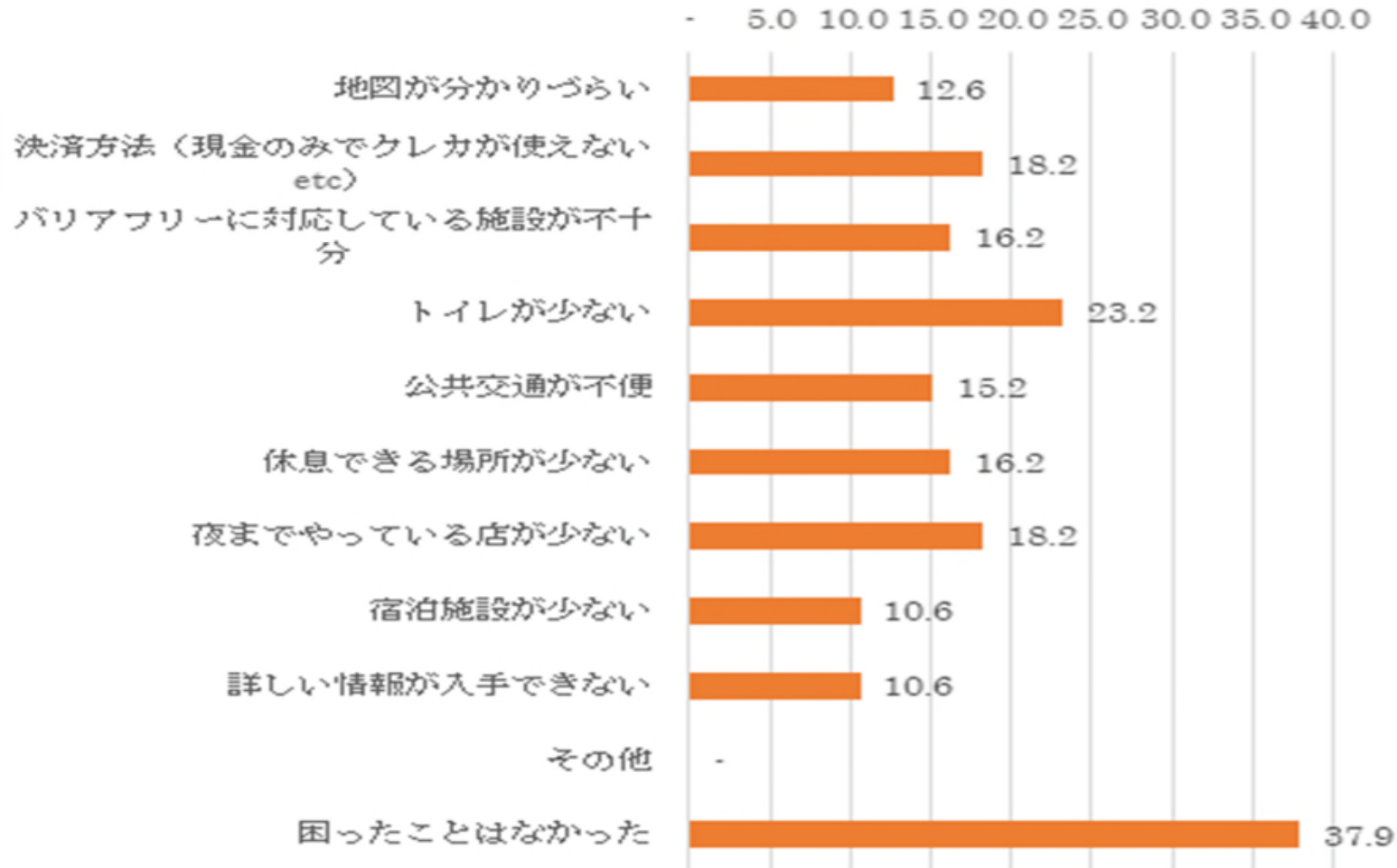


3)4.3 マイクロツーリズムの実態

トイレが少ない点が最も高かった

決済方法の不便や店舗の営業時間の短さに対しての意見も多かった。

マイクロツーリズムで困ったこと



3)4.3 マイクロツーリズムの実態

表 地域別にみたマイクロツーリズムの希望と経験

	全体	北海道	埼玉県	東京都	島根県
N	700	200	200	200	100
マイクロツーリズムに行きたくて、実際に行った	8.1	11.0	6.5	6.0	10.0
マイクロツーリズムに行きたかったが行けなかった	14.3	15.0	14.0	16.5	9.0
マイクロツーリズムに行くつもりはなかったが結果的に行った	10.4	10.5	12.5	9.0	9.0
マイクロツーリズムに行くつもりはなく、実際に行っていない	67.1	63.5	67.0	68.5	72.0

3)4.3 マイクロツーリズムの実態

表 地域別にみたマイクロツーリズムを行った理由（コロナ後）

	全体	北海道	埼玉県	東京都	島根県
N	130	43	38	30	19
リラックス、ストレス発散、気分転換のため	54.6	51.2	60.5	50.0	57.9
友達・家族に誘われたから	22.3	30.2	18.4	6.7	36.8
安心して安全に旅行ができると感じたから	30.8	27.9	31.6	36.7	26.3
地元に貢献するため	18.5	23.3	21.1	6.7	21.1
割引きがあったから	19.2	34.9	15.8	10.0	5.3
他の地域に行きたかったが、仕方なく	15.4	20.9	18.4	6.7	10.5
混んでいないと思ったから	15.4	18.6	18.4	10.0	10.5
テレビや雑誌、SNS などを見て	8.5	11.6	5.3	10.0	5.3

3)4.3 マイクロツーリズムの実態

表 地域別にみたマイクロツーリズムでの経験内容

	全体	北海道	埼玉県	東京都	島根県
N	198	62	54	58	24
他の観光客や地域の人との接触をできるだけ避けた	44.4	46.8	35.2	48.3	50.0
写真撮影、旅行の体験や感想を SNS に投稿した	31.3	30.6	37.0	36.2	8.3
人との出会いや魅力的な店などの発見があった	27.8	37.1	18.5	27.6	25.0
自身の趣味やライフスタイルに刺激を受けた	29.8	29.0	35.2	25.9	29.2
その他	1.5	-	3.7	1.7	-

3)4.3 マイクロツーリズムの実態

表 地域別にみた「マイクロツーリズム」の認知率

	全体	北海道	埼玉県	東京都	島根県
N	700	200	200	200	100
知っている	10.9	10.5	7.5	15.5	9.0
聞いたことはある	30.0	30.5	25.0	33.5	32.0
知らない	59.1	59.0	67.5	51.0	59.0

3)4.3 マイクロツーリズムの実態

表 地域別にみた「近場」の範囲のイメージ

	全体	北海道	埼玉県	東京都	島根県
N	700	200	200	200	100
移動時間が30分以内	12.4	13.5	13.5	11.5	10.0
移動時間が1時間以内	41.6	40.0	43.5	47.0	30.0
移動時間が2時間以内	35.3	31.5	34.5	33.0	49.0
移動時間が2時間以上でも近場だと思う	10.7	15.0	8.5	8.5	11.0

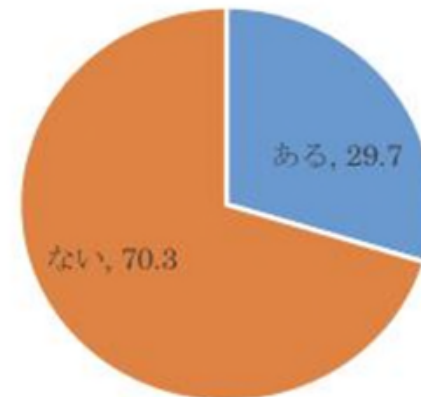
4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

関係人口とは...定住人口でも交流人口でもなく地域と多様に関わる人々

関係人口になるきっかけの1つは、地域に愛着を持つこと

日常生活圏、通勤圏等以外に関わりを持っている地域の有無

- ・ 約**3割**の人が関係人口

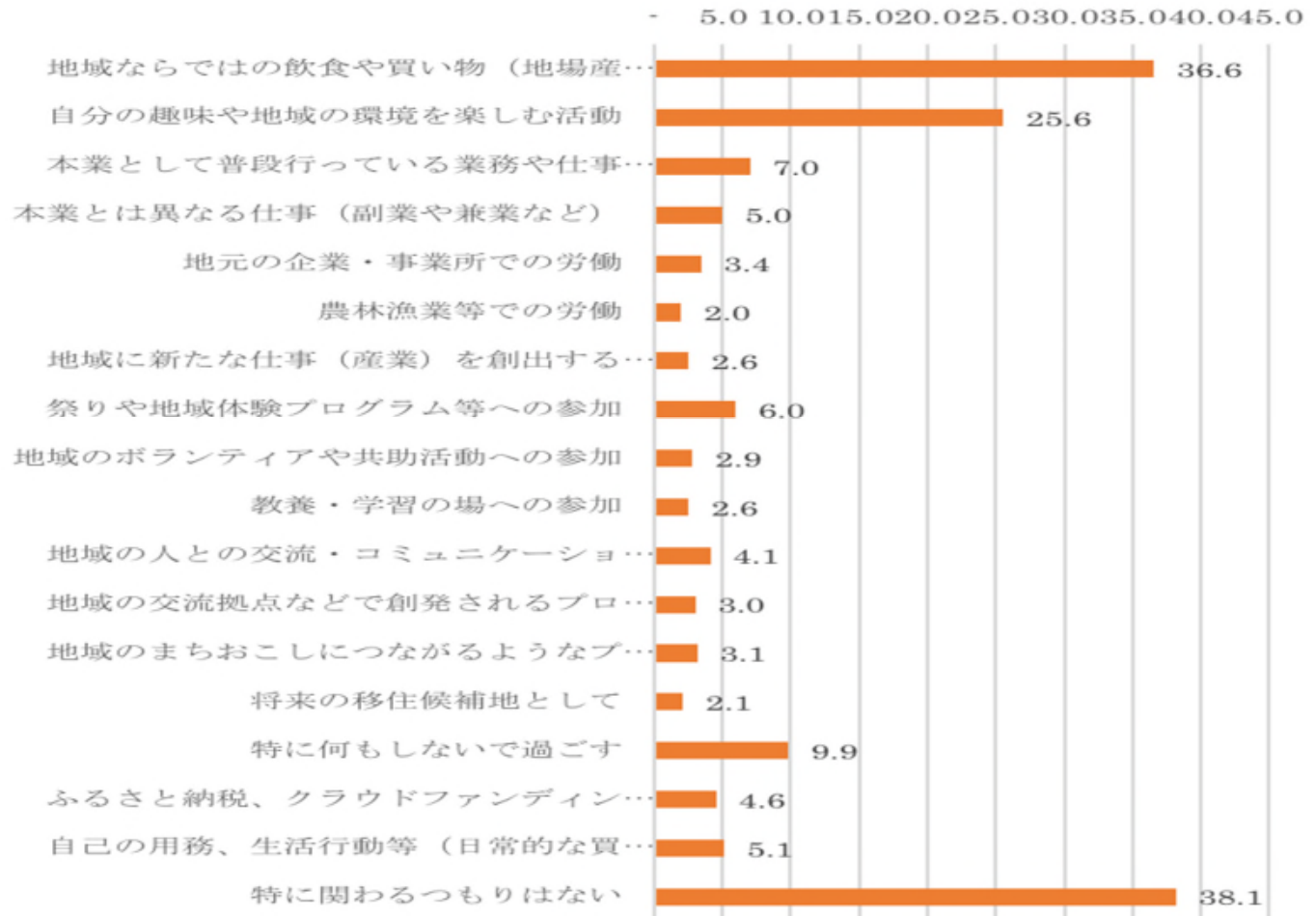


4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

地域との今後の関わり

- ・地域ならではの買い物をしたい人が4割
- ・一方、関わるつもりがない人も4割
- ・他には、趣味や環境を楽しみたい人、何もせずゆったり過ごしたい人が多かった

マイクロツーリズムで訪れた地域と希望する今後の関わり（複数回答）



4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

マイクロツーリズムの経験と地域愛着

- ・ マイクロツーリズムの経験がある人は、地域に愛着がある傾向

表 マイクロツーリズムの経験と地域愛着の関係

	コロナ後マイクロツーリズム経験あり	コロナ後マイクロツーリズム経験なし
N	130	570
とても愛着がある	27.7	22.1
やや愛着がある	43.8	33.0
どちらでもない	16.9	28.9
あまり愛着がない	6.9	7.4
全く愛着がない	4.6	8.6

4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

マイクロツーリズムの積極性と地域愛着

- ・ 地域に愛着がある人は、マイクロツーリズムに積極的

表 マイクロツーリズムへの積極性と地域愛着の関連性

	マイクロツーリズムに行きたくて、実際に行った	マイクロツーリズムに行きたかったが行けなかった	マイクロツーリズムに行くつもりはなかったが結果的に行った	マイクロツーリズムに行くつもりはなく、実際に行っていない	総計
とても愛着がある	13.6%	17.3%	8.6%	60.5%	162
やや愛着がある	9.0%	20.0%	14.3%	56.7%	245
どちらでもない	3.7%	9.6%	8.0%	78.6%	187
あまり愛着がない	7.8%	5.9%	9.8%	76.5%	51
全く愛着がない	3.6%	3.6%	7.3%	85.5%	55
総計	8.1%	14.3%	10.4%	67.1%	700

4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

- ・ マイクロツーリズムの経験がある人は、地域への愛着がある傾向
- ・ 地域への愛着がある人は、マイクロツーリズムに積極的

→ マイクロツーリズムと関係人口は相関関係にある

☆ 因果関係があるのかが気になる点

5) 本調査のまとめ

1. コロナ前後における観光実態

- ・ **旅行頻度**はコロナ前と比較し大きく**減少**
- ・ **旅行に行かない層が大幅に増加** 27.7%（コロナ前）→62.6%（コロナ後）
- ・ 観光志向はおおむね変化は見られないが、**自宅からのアクセスの良さ、安価で割引などのお得感がある**ことを重視するようになった

2. コロナ前後におけるマイクロツーリズムの実態

- ・ マイクロツーリズムの**希望率**は**コロナ前後で全く変化が見られない**
- ・ コロナ後は**自家用車**を利用する人が**6割**を超える
- ・ 地域別にみると**希望率、経験率ともに地方部が高い**傾向
- ・ 「**リラックス、ストレス発散**」や「**安心安全**」を求めてマイクロツーリズムを行う傾向

4)4.4 マイクロツーリズムと関係人口の関係性

3. マイクロツーリズムと関係人口の関係性

- ・ **通勤圏以外にかかわりを持っている地域**があると回答した人は **3割**
- ・ 今後もマイクロツーリズムで訪れた観光地と関わりを持ちたい人の4割は**飲食**や**買い物**、3割は**趣味**や**環境を楽しむ**ことで関わりを望んでいる
- ・ 特にかかわるつもりがないと回答した人も一定数存在している
- ・ コロナ禍で**マイクロツーリズムを実施した人は地域愛着が高い**傾向